SONY

4-400-694-**05**(1)

# デジタルフォトフレーム ハンドブック

取扱説明書



S-Frame







DPF-WA700/W700



# 安全のために

➡83 ～ 86 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、誤った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

83 ～ 86 ページの注意事項をよくお読みください。



## 定期的に点検する

1 年に 1 度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。



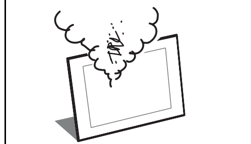
## 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。



## 万一異常が起きたら

**変な音・においがしたら、煙が出たら**





1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

### 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

**注意を促す記号**


火災


感電


注意

**行為を禁止する記号**


禁止


分解禁止


接触禁止


ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**


指示


プラグをコンセントから抜く

# 目次

## 使ってみよう



## もっと楽しむ



## 困ったときは



## 警告・注意



## 索引

# お使いになる前に必ずお読みください

### 再生時に際してのご注意

- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を切ってください。
- AC アダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

### 著作権について

各種CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

### バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

### 液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になったりします。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあったりします。これは故障ではありません。
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

## 設置について

水の入った物や花瓶などを本機の上に載せないでください。故障の原因になります。

### 本書での説明について

- 対象のデジタルフォトフレームはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。
- 本書では、特に説明が必要な所を除き、メモリーカードとUSBメモリーをまとめて「メモリーカード」と記します。

## 本書のイラスト、画面表示について

- 特に説明が必要な所を除き、DPF-WA700 を使用しています。
  また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

## 機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

## 周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止し（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。
   ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

2.4DS/OF2

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

## 無線LAN機能の使用地域について

無線LAN機能は、日本国内のみ使用できます。

## 無線LAN機能について

- 本機内蔵の無線LAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。
- 無線LAN機能へのアクセスは、地域によってご利用できない可能性や、別途料金が課せられる可能性、通信に障害が起きたり途切れがちになったりする可能性があります。

## 無線LAN機能使用時のセキュリティーに関するご注意

無線LAN機能ではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。

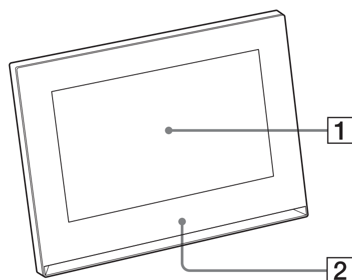


次のページにつづく

セキュリティー対策を施さず、あるいは無線LAN機能の使用上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる障害に対する責任を負いかねます。

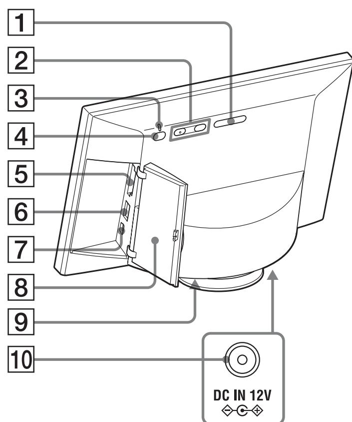
# 各部の名前

## DPF-WA700




### 本体前面

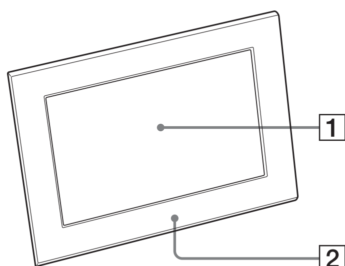
1 液晶画面／タッチパネル
2 ソニーロゴ




### 本体背面

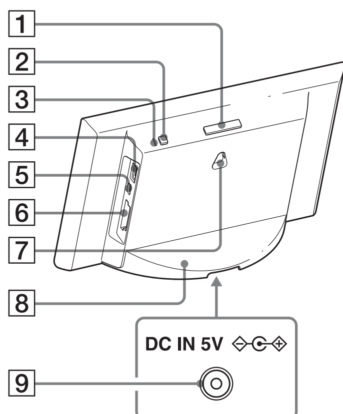
1 メニューボタン
2 音量＋／－ボタン（31、33ページ）
3 スタンバイランプ（16ページ）
4 ⏻（電源）ボタン（16ページ）
5 メモリーカードスロット（22ページ）
6 USB A端子（22ページ）
7 USB Mini-B端子（63、64ページ）
8 スロットカバー（22ページ）
9 スピーカー
10 DC IN端子（14ページ）

# DPF-W700




### 本体前面

1 液晶画面／タッチパネル
2 ソニーロゴ




### 本体背面

1 メニューボタン
2 ⏻（電源）ボタン（16ページ）
3 スタンバイランプ（16ページ）
4 USB A端子（22ページ）
5 USB Mini-B端子（63、64ページ）
6 メモリーカードスロット（22ページ）
7 壁掛用の穴（13ページ）
8 スタンド（12ページ）
9 DC IN端子（15ページ）

# 本機で使えるメモリーカード／USBメモリー

本機では、デジタルカメラなどから抜いたメモリーカード（“メモリースティックデュオ”、またはSDメモリーカード）や、USBメモリーをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。

| 使えるメモリーカード/USBメモリー | | アダプターの取り付け |
|---|---|---|
| | • “メモリースティックデュオ”（マジックゲート非対応/マジックゲート対応）<br>• “メモリースティックPRO デュオ”<br>• “メモリースティックPRO-HG デュオ” | 不要 |
| | • “メモリースティック マイクロ”（“M2”） | “M2”アダプター（デュオサイズ） |
| | • SDメモリーカード<br>• SDHCメモリーカード | 不要 |
| | • miniSDカード<br>• miniSDHCカード | miniSD/miniSDHC アダプター |
| | • microSDカード<br>• microSDHCカード | microSD/microSDHC アダプター |





次のページにつづく

| 使えるメモリーカード/USBメモリー | | アダプターの取り付け |
|---|---|---|
| | • USBメモリー | |

**ご注意**

- “メモリースティックデュオ”は、32GBまでのソニー製“メモリースティックデュオ”で動作確認を行っています。
- “M2”は、“メモリースティックマイクロ”の略称です。本文では今後略称“M2”を用いて記述します。
- SDメモリーカードは、2GBまでのSDメモリーカードで動作確認を行っています。
- SDHCメモリーカードは、32GBまでのSDHCメモリーカードで動作確認を行っています。
- すべてのメモリーカードとの接続や動作を保証するものではありません。
- 本機には、“メモリースティックデュオ”スロットが搭載されています。標準サイズの“メモリースティック”は使用できません。
- miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHCまたは“メモリースティックマイクロ”をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。そのままスロットに挿入すると、取り出せなくなる場合があります。
- カードアダプターに装着したメモリーカードをさらに別のカードアダプターに装着したものは、本機で使用しないでください。
- 本機にカードアダプターは同梱していません。
- メモリーカードに関するその他のご注意は、「メモリーカードについてのご注意」（75ページ）をご覧ください。

# 準備❶ 同梱品を確認する

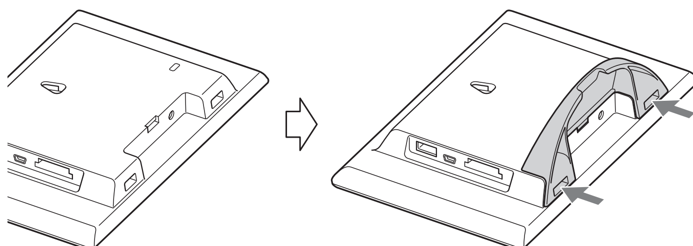
梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトフレーム（1）
- ACアダプター（1）
- スタンド（DPF-W700のみ）（1）
- はじめにお読みください（1）
- 取扱説明書
  デジタルフォトフレームハンドブック（1）
- 保証書（1）
- 製品登録のおすすめ（1）

# 準備❷ スタンドを取り付ける

## （DPF-W700のみ）

スタンドのツメを本体に合わせ、スタンドの裏からツメの部分をカチッと音がするまで押し込んでしっかり差し込む。

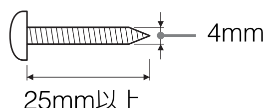


**ご注意**

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- スタンド部のみを持って本機を持ち運びしないでください。本体が落下する可能性があります。

## 壁にかけて使用するには（DPF-W700のみ）

1 **本機背面の壁掛用の穴に合う市販のネジを用意する。**

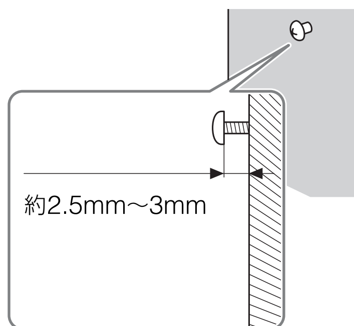






2 **壁に市販のネジをとめる。**

ネジが壁から2.5mmから3mm、突き出した状態で壁に固定します。




3 **本機背面の壁掛用の穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。**

**ご注意**

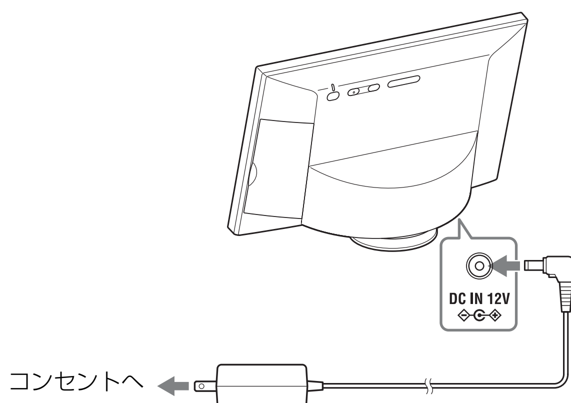
- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。
- 取り付けネジが緩んで本体が落下しないように、ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所で行ってください。
- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- DCコードを本機に接続してから壁にかけ、その後にACアダプターをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 壁掛け使用時に、本体ボタンやタッチパネルを操作すると落下の恐れがあります。操作するときは、本体をしっかりと支えながら充分に注意して行ってください。

# 準備❸ 電源を入れる

## ACアダプターをつなぐ（DPF-WA700）

### ACアダプターを下図のようにつなぐ。

自動的に電源が入ります。




**初めてお使いになるときは**

➔「準備❹ 初期設定をする」（17ページ）へお進みください。

**初期設定が終わっているときは**

➔「スライドショーを楽しむ」（22ページ）へお進みください。

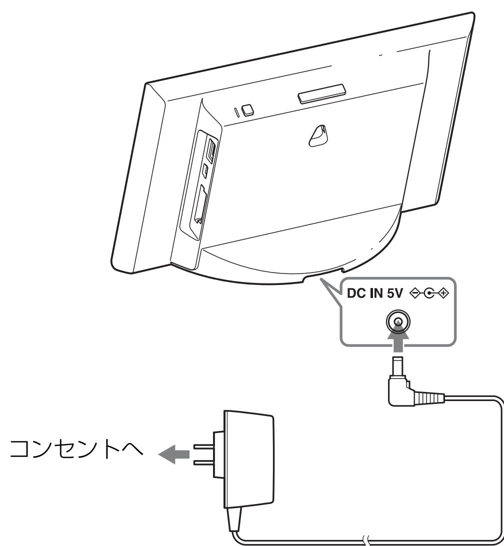
**ちょっと一言**

- 何も操作せずに一定時間が経過すると、デモンストレーション画面が表示されます。デモンストレーション画面で⏻（電源）以外のボタンを押すと、デモンストレーション画面は終了します。
- デモンストレーション画面の音量を調節するには、音量－/＋を押してください。

## ACアダプターをつなぐ（DPF-W700）

### ACアダプターを下図のようにつなぐ。

自動的に電源が入ります。




**初めてお使いになるときは**

➔「準備❹ 初期設定をする」（17ページ）へお進みください。

**初期設定が終わっているときは**

➔「スライドショーを楽しむ」（22ページ）へお進みください。

**ちょっと一言**

- 何も操作せずに一定時間が経過すると、デモンストレーション画面が表示されます。デモンストレーション画面で⏻（電源）以外のボタンを押すと、デモンストレーション画面は終了します。

# 電源を入／切する

## 電源を入れるときは

⏻（電源）を押します。本体のスタンバイランプが赤から緑に変わります。

## 電源を切るときは

⏻（電源）を押したままにします。電源を切るかどうかを確認するメッセージが画面に表示されます。メッセージに従って、電源を切ってください。本体のスタンバイランプが緑から赤に変わります。

**ちょっと一言**

- ⏻（電源）を短時間押すと、液晶画面のバックライトが消灯され、画面が暗くなります。その場合、スタンバイランプは緑のままです。もう一度電源を押すとバックライトが再点灯し、元の画面に戻ります。

**ご注意**

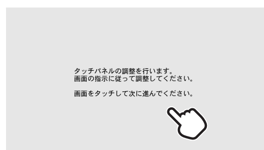
- 電源を切る前、またはスタンバイランプが赤に変わる前に、ACアダプターをコンセントや本機のDC IN端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。
- ACアダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、使い終わったら、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、ACアダプターをコンセントから取りはずしてください。
- 付属のACアダプターは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

# 準備❹ 初期設定をする

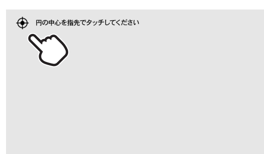
画面の指示に従って、操作します。

## 1 タッチパネルを調整（キャリブレーション）する。

① 指先で1度画面をタッチする。
丸が表示されます。




② 画面の指示に従って次々に表示される丸をタッチする。
何度かタッチすると画面調整が終了します。




③［完了］をタッチする。
言語の選択画面が表示されます。

### ちょっと一言

- タッチパネルの調整（キャリブレーション）は、正しい位置をタッチしないとやり直しになります。
- タッチパネルの調整（キャリブレーション）は、「設定を変更する」（59ページ）からも行えます。調整（キャリブレーション）はタッチパネルの反応を、最適な設定にするための機能です。タッチパネルをタッチしても、タッチした位置で反応しないときに行ってください。
- 本機のタッチパネルは、抵抗膜方式（感圧式）を使用しています。
感圧式は、パネルをタッチした時の圧力を感知して反応する方式です。狭い範囲（点）で圧力をかけるとより正確に反応します。指先やプラスチック製の細いものを使用することをお勧めします。
タッチする力が弱い場合や、広い範囲で（指の腹全体）でタッチした場合は、反応しにくくなります。
- タッチパネルが反応するのは、1点のみです。タッチパネルをタッチした際に、他の指や手の一部が画面に触れないようにしてください。

## 2 言語を設定する。

① 指で画面を上下に動かし、使用したい言語を選んでタッチする。




②［次へ］をタッチする。
タイムゾーン選択の画面が表示されます。





次のページにつづく

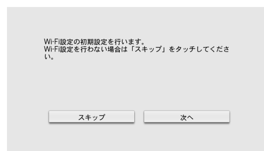
## 3 タイムゾーンを設定する。

① 指で画面を上下に動かし、タイムゾーンを選んでタッチする。




② ［次へ］をタッチする。
Wi-Fi設定についてのメッセージが表示されます。

③ **Wi-Fi接続の初期設定を行う場合は**、［次へ］をタッチする。
Wi-Fi設定画面が表示されます。
**Wi-Fi-接続を後で行う場合は**、［スキップ］をタッチする。

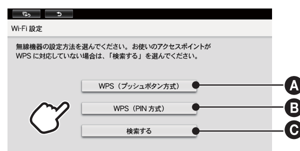



**ちょっと一言**

- Wi-Fi設定を行いたい場合は、「設定を変更する」（59ページ）をご覧ください。

## 4 無線LANを設定する。

お使いのアクセスポイントにあわせて、設定方法を選んでタッチする。




**ちょっと一言**

- 無線LANルーター（アクセスポイント）の取扱説明書もあわせてご覧ください。
**ネットワーク名（SSID）とパスワード（WEPキーまたはWPAキー）は、アクセスポイントの側面や裏面に記載されています。**
ご不明なときは、アクセスポイントの製造会社にお問い合わせください。

Ⓐ お使いのアクセスポイントがWPSに対応し、アクセスポイントにWPSボタンがある場合に選ぶ。
→「ⒶWPS（プッシュボタン方式）」（19ページ）へお進みください。

Ⓑ お使いのアクセスポイントがWPSに対応し、アクセスポイントにWPSボタンがない場合に選ぶ。
→「ⒷWPS（PIN方式）」（19ページ）へお進みください。

Ⓒ お使いのアクセスポイントがWPSに非対応の場合に選ぶ。
［検索する］をタッチすると、本機で確認できるアクセスポイントのリストが表示されます。表示されたリストから接続したいアクセスポイントを選び、画面の指示に従って、ネットワーク名（SSID）とパスワード（WEPキーまたはWPAキー）を入力してください。
→詳しくは「Ⓒ検索する」（20ページ）をご覧ください。

**ちょっと一言**

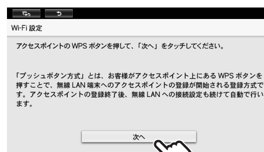
- WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、セキュリティーで保護されたWi-Fiに簡単に接続するための規格です。Wi-Fi設定をする前に、お使いのアクセスポイントがWPS規格に準拠しているか、また、WPSボタンの位置や使いかたを確認してください。
- アクセスポイントによっては、WPSボタンの名称が異なる場合があります。

## Ⓐ WPS（プッシュボタン方式）

① ［WPS（プッシュボタン方式)］をタッチする。

② アクセスポイントのWPSボタンを押す。
アクセスポイントによってボタンの操作方法が異なります。

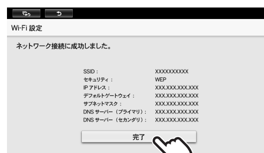
③ 画面上の［次へ］をタッチする。




アクセスポイントとの接続が開始され、自動的にネットワーク設定が行われます。




④ 表示内容を確認し、［完了］をタッチする。
スライドショー画面が表示されます。
ただし、画像データがない場合は背景に が表示されます。




## Ⓑ WPS（PIN方式）

① ［WPS（PIN方式)］をタッチする。

② アクセスポイントに、画面に表示されたPINコードを入力する。

**ちょっと一言**

- アクセスポイントへのPINコードの入力方法は、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

③ 画面の「次へ」をタッチする。





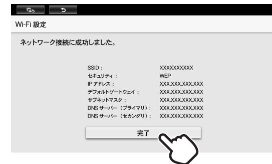



次のページにつづく

アクセスポイントとの接続が開始され、自動的にネットワーク設定が行われます。




④ 表示内容を確認し、［完了］をタッチする。
スライドショー画面が表示されます。ただし、画像データがない場合は背景に が表示されます。




**Ⓒ 検索する**

アクセスポイントがWPSに対応していない場合は、アクセスポイントを検索してWi-Fiを接続することができます。

**ちょっと一言**

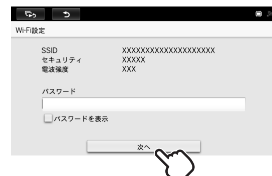
- はじめに、アクセスポイントのネットワーク名（SSID）とパスワード（WEPキーまたはWPAキー）を用意してください。

① ［検索する］をタッチする。

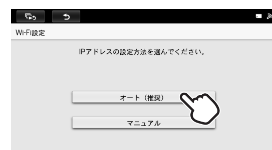
② 表示されたリストから接続したいアクセスポイントを選ぶ。
**アクセスポイントが見つからないときは**
［アクセスポイントを追加］をタッチし、表示された画面でSSIDを入力し、［次へ］をタッチしてください。
④へ進む

③ 表示された画面にパスワードを入力し、［次へ］をタッチする。
- [パスワードを表示]の左側をタッチし、「✔」マークをつけると入力したパスワードを確認できます。
- パスワードの下の白い枠をタッチするとキーボードが表示されます。

**大文字小文字にご注意ください。**



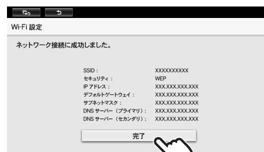

④ IPアドレスの設定方法で［オート（推奨)］をタッチする。
アクセスポイントに接続を始め、接続が完了すると、ネットワークの確認画面が表示されます。



### 自動取得できないときは

- ［マニュアル］を選び、表示された画面で、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSサーバ（プライマリ）、DNSサーバ（セカンダリ）の情報を入力し、［次へ］をタッチしてください。

⑤ 表示内容を確認し、［完了］をタッチする。
スライドショー画面が表示されます。
ただし、画像データがない場合は背景に が表示されます。




### ちょっと一言

- 何も操作せずに一定時間が経過すると、デモンストレーション画面が表示されます。デモンストレーション画面で、⏻（電源）以外のボタンを押すと、デモンストレーション画面は終了します。
- 設定の途中で前の画面に戻る場合は画面左上の （戻る）ボタンをタッチしてください。

### ご注意

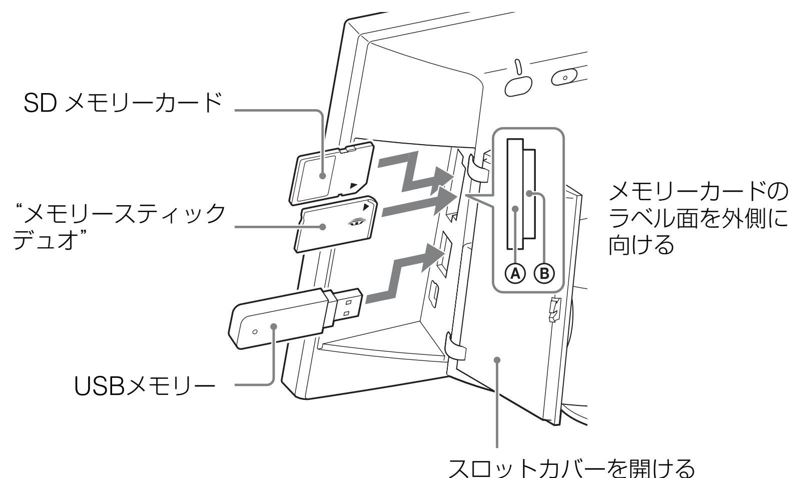
- ネットワーク機器の接続・設定方法は機器によって異なります。
- 本機をネットワークに接続するには、以下が必要です。
  – インターネットサービスプロバイダとの契約
  – ADSLモデムなどのネットワーク機器
  – アクセスポイントまたはワイヤレスルーター
  – アクセスポイントの設定情報（SSID）
- 無線ＬＡＮに接続できない場合は、以下をご確認ください。
  ①お使いのアクセスポイントの準備
  – 電源が入っていますか
  – 他のWi-Fi機器との接続数が、アクセスポイントの最大接続数を超えていませんか
  – MACアドレスフィルタリング機能などのアクセス制限の使用状況は適切ですか
  – SSIDを隠す（ステルス）設定が有効となっていませんか（有効になっていると、SSIDが表示されません）
  ②電波状況
  – お使いのアクセスポイントと本機との距離は離れ過ぎていませんか
  – 2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用していませんか
  – IEEE802.11a（5GHz帯）帯の周波数は対応していません
- 設定内容が分からないときは、アクセスポイントを設定した方や管理者、またはプロバイダーにご確認ください。
- Wi-Fi 設定方法を動画でご案内しております。
  詳しくは、下記のWEBサイトをご覧ください。
  http://www.sony.jp/support/movie/

# スライドショーを楽しむ

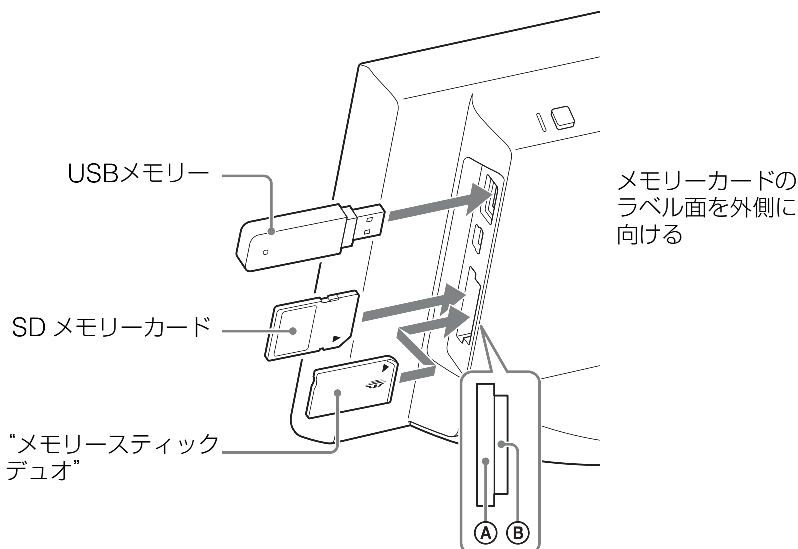
**メモリーカードまたはUSBメモリーを差し込む。**

本体背面から見て、メモリーカードまたはUSBメモリーの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れてください。自動的に再生が始まり、メモリーカードまたはUSBメモリー内の画像が次々に、スライドショー形式で表示されます。

■ DPF-WA700




■ DPF-W700



## メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ引き抜きます。

画面に画像が表示されている間は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードの記録内容を破損する場合があります。本体背面のメニューを押して、メニューを表示させてから、メモリーカードを取り出すことをおすすめします。

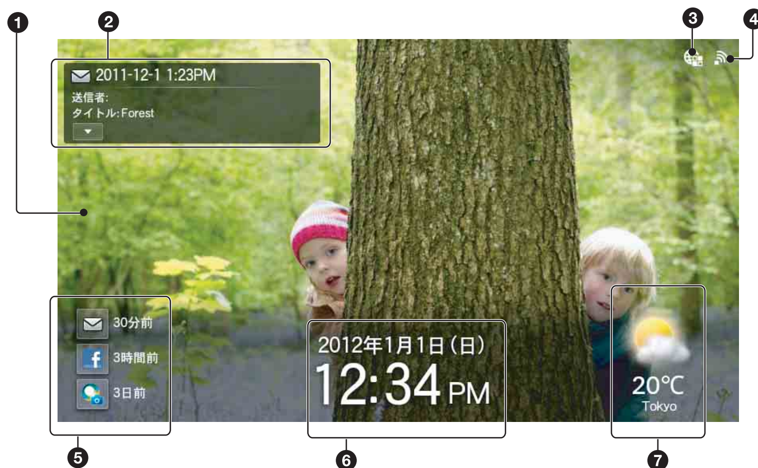
### ちょっと一言

- メモリーカードを挿入しても再生が始まらない場合は、挿入の向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。
- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモンストレーション画面が表示されます。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または⏻（電源）以外のいずれかのボタンを押すと、デモンストレーション画面が終了します。

### ご注意

- Ⓐ、Ⓑスロット、USB端子に同時にメモリーカードやUSBメモリーを挿入すると、正常に動作しません。また、Ⓐ、Ⓑスロットに同時にメモリーカードを挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  – メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
  – 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
  – メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スタンバイモードにせずに電源を切るとスライドショーはつづきから再生されません。
- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。
- 縦位置で撮影した回転情報をExif情報に記録できないデジタルスチルカメラで撮影した画像は、横位置で表示されます。

# スライドショー画面について




| 表示項目 | 内容 |
| --- | --- |
| ❶ **画像** | 画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。(画像サイズによっては、上下左右に黒い帯が表示されることがあります。)<br>• 次のようなアイコンが表示されている場合は画像データを確認してください。<br>:画像データをサポートしていません。<br>:画像データが壊れています。<br>:画像データがありません。 |
| ❷ **メッセージ表示** | ネットワークサービスで受信した画像を表示しているとき、その画像の情報を表示します。<br>**表示内容**<br>ネットワークサービスアイコン<br>( : メール／ : Facebook／<br> : PlayMemories Online、<br>送信日時、送信者、タイトル<br>• をタッチすると、メッセージ表示画面が開きます。(スライドショー 4を除く)<br>Facebookの場合：[いいね！ ]ボタンと“いいね！”の数が表示されます。(49ページ)<br>• 表示、非表示を設定できます。(47ページ) |

| 表示項目 | 内容 |
|---|---|
| ❸ **再生デバイス** | 表示している画像のデバイスを表示します。<br>"メモリースティックデュオ" もしくは SDメモリーカード / USBメモリー / 内蔵メモリー / ネットワークコンテンツ / ホームネットワーク |
| ❹ **Wi-Fi電波状態** | Wi-Fi電波強度を、4段階で表示します。<br>弱 強<br>• Wi-Fiが接続されていない状態は、が表示されます。 |
| ❺ **新着表示** | 各サービスネットワークでの新着時間を表示します。<br>**ネットワークサービスアイコン**<br>: メール／ : Facebook／<br>: PlayMemories Online<br>が表示されているときは、通信中を示します。<br>サービスアイコンをタッチすると、最新の画像を表示します。<br>• アカウント設定していないサービスは表示しません。 |
| ❻ **時計** | 時刻と日付を表示します。<br>• 表示書式を変更することができます。(61ページ) |
| ❼ **天気** | 指定した都市（エリア）の天気・気温と、指定した都市名（エリア）を表示します。<br>都市名の表示は、ローマ字のみです。日本語での表示はできません。<br>• 都市は「天気予報の都市を設定する」(26ページ) で、お使いになる地域に近い都市を設定してください。<br>• 気温表示の書式を変更することができます。(61ページ) |

**ちょっと一言**

• スライドショーの表示順はファイル名順（ネットワークサービスの場合は、新着順）となります。

## 指で画像を送る

画面の中央を軽く右または左へなぞると、手動で画像を送ることができます。

## ネットワークサービスの新着を確認する

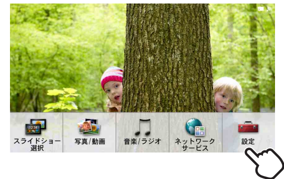
本体背面のメニューを押し、[ネットワークサービス] をタッチしてください。[今すぐ確認] をタッチすると、有効になっているネットワークサービスの新着確認をします。

# 天気予報の都市を設定する

お使いになる地域に近い都市名を設定してください。その都市の天気予報を表示することができます。

1 **本体背面のメニューを押す。**

2 **[設定] をタッチする。**




3 **[天気設定] をタッチする。**

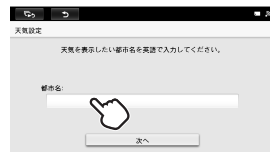



4 **[都市を選択] をタッチする。**




5 **[都市名] の下の白い枠をタッチする。**

キーボードが表示されます。




6 **キーボードで希望の都市名を入力する。**

都市の名前を英語で入力してください。

<例>「東京」の場合→「TOKYO」と入力する。

該当都市候補の一覧が表示されます。




**ちょっと一言**

- 都市の候補が多いと画面に表示しきれない場合があります。その時は、指で画面を上下に移動してください。その他の候補についても表示されます。

7 **該当都市を選んでタッチする。**

確認画面が表示され、最初の天気設定画面に戻ります。

該当都市がない場合は、手順5の都市名入力画面に戻ります。もう一度入力してください。

8 **都市の設定が終わったら、画面左上の をタッチする。**

スライドショー画面に戻ります。

### 気温表示を変更するには

天気設定画面から摂氏／華氏の気温表示を変更することができます。
天気設定画面で［摂氏／華氏］をタッチし、［摂氏］または［華氏］を選んでタッチしてください。
終わったら、画面左上の をタッチし、スライドショー画面に戻ります。

# スライドショー表示を切り換える

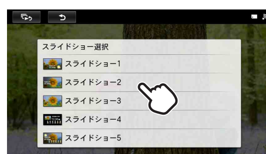
1 **本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

2 **[スライドショー選択]をタッチする。**

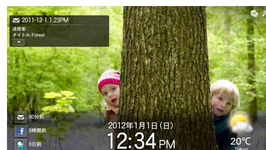



3 **好みのスライドショーを選んでタッチする。**



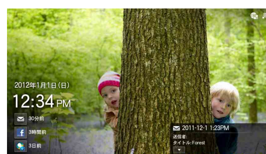

**スライドショー1**

基本の項目をすべて表示します。
表示内容は24ページをご覧ください。



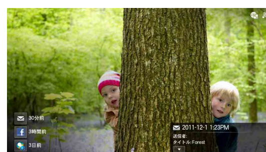

**スライドショー2**

「スライドショー1」と比べ、「天気」を表示しません。




**スライドショー3**

「スライドショー1」と比べ、「天気」と[時計]を表示しません。



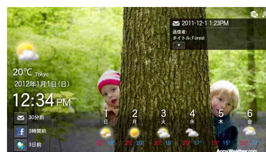
**スライドショー4**

「スライドショー1」と比べ、[天気]と[時計]を大きく、画像は小さく表示し、[週間天気予報]を追加で表示します。




**スライドショー5**

「スライドショー1」と比べ、[週間天気予報]を追加で表示します。



# 好みの画像を表示させる

## 再生デバイスを選択する

1 **本体背面のメニューを押す。**
メニューが表示されます。

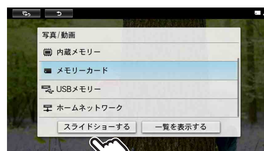
2 **[写真／動画]（DPF-WA700）／[写真]（DPF-W700）をタッチする。**




3 **再生するデバイスを選んでタッチする。**

**ちょっと一言**
- 挿入されていないメモリーカードはグレーの文字で表示され、選択することができません。
- [ホームネットワーク] を選んだ場合は、表示されたネットワーク機器から1台を選び、その中のフォルダーを選択してください。選んだ機器が持っている写真のリストが表示されます。「ホームネットワークを楽しむ」（53ページ）をご覧ください。

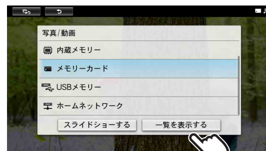
4 **[スライドショーする] をタッチする。**
選んだデバイスの中に入っている画像をファイル名順（ネットワークサービスの場合は、新着順）にスライドショー表示します。



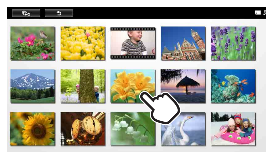
## 画像を選んで表示する（一枚表示）

1「再生デバイスを選択する」（29ページ）の手順3まで操作する。

2［一覧を表示する］をタッチする。
選んだデバイスの中に入っている画像をインデックス表示します。




3 表示したい画像を選んでタッチする。
選んだ画像が表示されます。
表示される画像は縦横比がそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。



### 指で画像を送る

画面の中央を軽く右または左へなぞると、手動で画像を送ることができます。

# 動画を再生する（DPF-WA700のみ）

**1 「画像を選んで表示する（一枚表示）」（30ページ）の手順2まで操作する。**

**2 再生させたい動画を選んでタッチする。**

選んだ動画が画面いっぱいに表示されます。

**3 画面の►をタッチする。**

動画の再生が始まります。

## 動画再生でできること（DPF-WA700のみ）

| できること | 操作 |
|---|---|
| 音量を調節する | 本体背面の音量＋/－を押す。 |
| 一時停止する | 画面のⅡをタッチする。<br>再開するときは►をタッチする。 |
| 早送り／早戻しする | 画面の◄◄または►►をタッチする。 |

**ご注意（DPF-WA700のみ）**

- スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。
- データの種類、メモリーカードの転送速度によっては、コマ落ちをすることがあります。
- データの種類によっては、スムーズに再生できないことがあります。
- 動画ファイルによっては、本機で早送り/早戻しができないものや、画像が乱れたり、音声が正しく再生できないものがあります。
- 次のような動画ファイルは再生できません。
  – 著作権保護された動画ファイル
  – 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル
  （上記以外の動画ファイルの動作を保証するものではありません。）
- 撮影時に複数のファイルに分割された動画の連続再生はできません。分割ファイルごとに再生してください。
- 動画ファイルの詳細については、撮影されるカメラの取扱説明書をご覧ください。

# 音楽やradiko.jp（ラジオ）を楽しむ

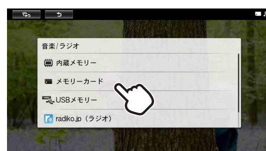
## （DPF-WA700のみ）

1 **本体背面のメニューを押す。**
メニューが表示されます。

2 **♫［音楽／ラジオ］をタッチする。**




3 **再生する音楽が入ったデバイスを選んでタッチする。**

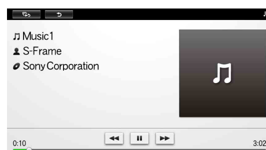



**ちょっと一言**

- 挿入されていないメモリーカードはグレーの文字で表示され、選択することができません。
- ［ホームネットワーク］を選んだ場合は、表示されたネットワーク機器から1台機器を選び、その中のフォルダーを選択してください。選んだ機器が持っている音楽ファイルのリストが表示されます。「ホームネットワークを楽しむ」（53ページ）をご覧ください。
- radiko.jpを聴く場合は、「radiko.jp（ラジオ）を聴く」（34ページ）をご覧ください。

4 **再生したい音楽ファイルをタッチする。**
選んだ音楽ファイルの再生が始まり、音楽ファイル操作画面が表示されます。



### 音楽再生でできること（DPF-WA700のみ）

| できること | 操作 |
|---|---|
| 音量を調節する | 本体背面の音量＋／－を押す。 |
| 一時停止する | 画面の❚❚をタッチする。<br>再開するときは►をタッチする。 |
| 曲をスキップする | 画面の❙◀または▶❙をタッチする。 |

### 音楽を聴きながら好みの画像を見る（DPF-WA700のみ）

音楽ファイル操作画面で、をタッチするとスライドショー画面になります。

## 音楽ファイルを保存する

音楽ファイルは、メモリーカードから直接内蔵メモリーに取り込みができません。
音楽ファイルを内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの音楽ファイルを本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターから画像や音楽をコピーする」（63ページ）をご覧ください。

# radiko.jp（ラジオ）を聴く

設定の前にWi-Fiが接続されていることが必要です。

1 **本体背面のメニューを押す。**
  メニューが表示されます。

2 **[音楽／ラジオ] をタッチする。**

3 **[radiko.jp（ラジオ）] をタッチする。**
  radiko.jpの画面が表示され、その後、放送局の選択画面が表示されます。

4 **好みの放送局を選んでタッチする。**
  再生が始まります。

5 **画面の指示に従って操作してください。**

## radiko.jp（ラジオ）を聴きながら好みの画像を見る

radiko.jpの画面で、をタッチするとスライドショー画面になります。

## radiko.jp（ラジオ）を止めるには

各放送局の表示画面の右上をタッチする。




**ちょっと一言**

- radiko.jpは一部地域が非対応です。非対応地域で受信しようとすると、サービスエリア外を示すメッセージが表示されます。

**ご注意**

- radiko.jpは地上波ラジオ放送をCMを含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。
  放送エリアと放送局についてはradiko.jpのホームページにてご確認ください。
  このサービスは遅延が発生するため、時報及び時刻のお知らせ、緊急地震速報は正確ではありませんので、あらかじめご了承ください。

# 画像を保存する（取り込み）

メモリーカードやUSBメモリー、ホームネットワークやネットワークコンテンツの画像データを、本機の内蔵メモリーに保存することができます。

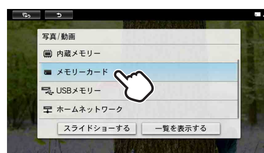
**1 本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

**2 [写真／動画]（DPF-WA700）／[写真]（DPF-W700）をタッチする。**



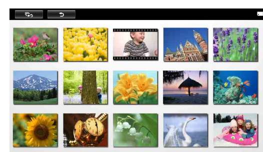

**3 取り込みたい画像のあるデバイスを選んでタッチする。**




**4 [一覧を表示する］をタッチする。**

選んだデバイスの中に入っている画像をインデックス表示します。

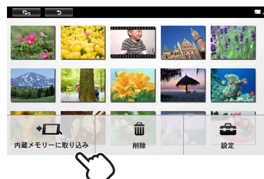
インデックス表示



**5 本体背面のメニューを押す。**

画面下に操作メニューが表示されます。

**6 [内蔵メモリーに取り込み］をタッチする。**








次のページにつづく

7 **インデックス表示されている画像から取り込みたい画像を選ぶ。**




**全ての画像を選びたいとき：**［全て選択］をタッチします。

**好みの画像だけ選びたいとき：**好みの画像をタッチし「✔」マークをつけます。

**選択を解除したいとき：**選択を解除したい画像をタッチすると、「✔」マークが消えます。

**ちょっと一言**

- [全ての選択を解除]をタッチすると、選んでいる画像がすべて解除され、すべての「✔」マークが消えます。

8 **［取り込み実行］をタッチする。**

9 **［はい］をタッチする。**




選んだ画像が内蔵メモリーに取り込まれます。取り込みが完了するとインデックス表示に戻ります。

**ちょっと一言**

- 手順9で［いいえ］を選ぶと取り込み選択の画面に戻ります。
- 取り込み中に［キャンセル］をタッチすると、取り込みが中止されてインデックス表示に戻ります。
- 画像を取り込むと、内蔵メモリー内に取り込んだ日付フォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に保存されます。

**ご注意**

- 内蔵メモリーに取り込み中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
  – ホームネットワーク接続を切る。

# 画像を削除する

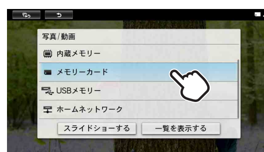
メモリーカードやUSBメモリー、ネットワークコンテンツの画像データを削除することができます。

1 **本体背面のメニューを押す。**
メニューが表示されます。

2 **[写真／動画]（DPF-WA700）／[写真]（DPF-W700）をタッチする。**

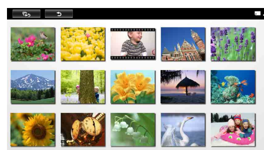



3 **削除したい画像のあるデバイスを選んでタッチする。**



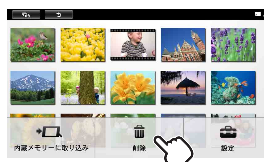

4 **[一覧を表示する］をタッチする。**
選んだデバイスの中に入っている画像をインデックス表示します。

インデックス表示



5 **本体背面のメニューを押す。**
画面下に操作メニューが表示されます。

6 **[削除］をタッチする。**








次のページにつづく

## 7 インデックス表示されている画像から削除したい画像を選ぶ。




**全ての画像を削除したいとき：**［全て選択］をタッチします。

**一部の画像だけ選びたいとき：**削除したい画像をタッチし「✔」マークをつけます。

**選択を解除したいとき：**選択を解除したい画像をタッチすると、「✔」マークが消えます。

**ちょっと一言**

- ［全ての選択を解除］をタッチすると、選んでいる画像がすべて解除され、すべての「✔」マークが消えます。

## 8 ［削除実行］をタッチする。

## 9 ［はい］をタッチする。




選んだ画像が削除されます。
削除が完了するとインデックス表示に戻ります。

**ちょっと一言**

- 手順9で［いいえ］を選ぶと、削除画像を選択する画面に戻ります。
- 削除中に［キャンセル］をタッチすると、削除が中止されてインデックス表示に戻ります。
- ホームネットワークの画像は、本機からの操作では削除できません。

**ご注意**

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。

**内蔵メモリーを初期化するには**

1 [設定]をタッチする。

2 [工場出荷時状態に戻す]をタッチする。

3 [内蔵メモリーの初期化]をタッチする。

# 内蔵メモリーから画像を書き出す

内蔵メモリーに取り込んだ画像を、メモリーカードに書き出すことができます。

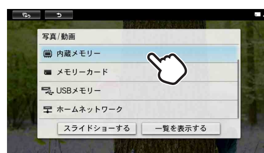
1 **本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

2 **[写真／動画]（DPF-WA700）／[写真]（DPF-W700）をタッチする。**



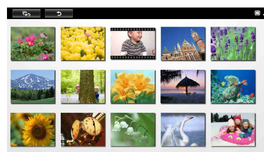

3 **内蔵メモリーを選んでタッチする。**




4 **[一覧を表示する］をタッチする。**

内蔵メモリーの中に入っている画像をインデックス表示します。

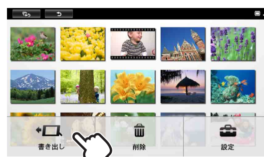
インデックス表示



5 **本体背面のメニューを押す。**

画面下に操作メニューが表示されます。

6 **[書き出し］をタッチする。**



7 **インデックス表示されている画像から書き出したい画像を選ぶ。**

**全ての画像を選びたいとき：**［全て選択］をタッチします。

**一部の画像だけ選びたいとき：**削除したい画像をタッチし「✔」マークをつけます。




**選択を解除したいとき：**選択を解除したい画像をタッチすると、「✔」マークが消えます。

**ちょっと一言**

- ［全ての選択を解除］をタッチすると、選んでいる画像がすべて解除され、すべての「✔」マークが消えます。

8 **［書き出し］をタッチする。**

9 **書き出し先を選びタッチする。**




10 **［はい］をタッチする。**

内蔵メモリーの画像が選んだデバイスに書き出されます。

書き出しが完了するとインデックス表示に戻ります。




**ちょっと一言**

- 手順10で［いいえ］を選ぶと書き出し画像を選択する画面に戻ります。
- 書き出し中に［キャンセル］をタッチすると、書き出しが中止されてインデックス表示に戻ります。
- 画像を書き出すと、書き出し先のメモリーカード内に書き出した日付フォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に保存されます。

**ご注意**

- 画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- 本機に認識されないメモリーカードはグレーで表示され、選択できません。

# 自動電源ON/OFFタイマーを使う

自動的に本体の電源を入／切できるタイマー機能を設定できます。

1 **本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

2 **[設定]をタッチする。**



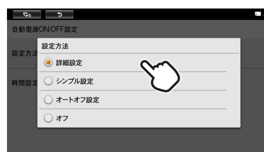

3 **[自動電源ON/OFF設定]をタッチする。**




**ちょっと一言**

- 画面に[自動電源ON/OFF設定]が見えないときは、画面上で指を上下になぞってください。画面が動きます。

4 **[設定方法]をタッチし、開いた画面で設定方法を選択してタッチする。**




**[詳細設定]**：曜日別に、1時間単位で自由に電源を入／切する時間を設定できます。

**[シンプル設定]**：1分単位で電源を入／切する時間を設定できます。

**[オートオフ設定]**：電源を入れたあと、本機を何も操作しないまま一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。

時間は2時間または4時間から選択できます。

**[オフ]**：自動電源ON/OFF機能が働きません。

5 **[時間設定]をタッチする。**

選んだ設定方法に合わせて、「タイマーの時間を設定する」(43ページ)をご覧になり時間を設定してください。

# タイマーの時間を設定する

「自動電源ON/OFFタイマーを使う」（42ページ）の手順4で選んだ設定方法に合わせて設定してください。

## ［詳細設定］を選んだ場合




1 **それぞれの曜日で、電源を入れておきたい時間をタッチして、青色にする。**
月曜日から日曜日まで1時間単位で選択します。青色の時間帯には、本機の電源が入ります。

2 **それぞれの曜日で、電源を切りたい時間をタッチして、グレーにする。**
月曜日から日曜日まで1時間単位で選択します。グレーの時間帯には、本機の電源が切れます。
画面をタッチするごとに、青色とグレーが変わります。

3 **［確定］をタッチする。**

**ちょっと一言**

- ［詳細設定］で自動電源OFFの設定時間となると、使用中でも電源は自動的に切れます。

## ［シンプル設定］を選んだ場合

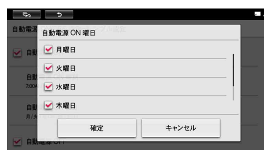
1 **［自動電源ON］または［自動電源OFF］をタッチする。**
有効にしたい設定に「✔」マークをつけます。




2 **［自動電源ON時刻］または［自動電源OFF時刻］を選んでタッチし、開いた時刻設定画面で∧／∨をタッチして時刻を設定し、［設定］をタッチする。**




3 **［自動電源ON曜日］または［自動電源OFF曜日］を選んでタッチし、それぞれ曜日の曜日を選んでタッチする。**
選んだ曜日には「✔」マークが表示されます。




4 **［確定］をタッチする。**



次のページにつづく

### ［オートオフ設定］を選んだ場合

［2時間］、または［4時間］を選び、タッチする。



# ネットワークサービスを楽しむ

本機ではメール、Facebook、PlayMemories Onlineを設定すれば、それぞれのサービスを通して送られてくる画像を定期的に更新し、新しい画像を自動的に表示することができます。

## メールを設定する

**ちょっと一言**

- はじめに、利用するメールサービスのアドレスとパスワードを用意してください。
- 登録できるメールアドレスは1つのみです。
- **メール設定の前に、Wi-Fiが接続されていることが必要です。**
  Wi-Fiの接続状態は、画面右上のWi-Fi電波状態の表示をご確認ください。

| | |
|---|---|
|  | Wi-Fiには接続されていません。接続設定を行ってください。 |
|    弱　強 | 電波強度を、4段階で表示します。電波強度が強い場所でご使用ください。 |

1 **本体背面のメニューを押す。**
メニューが表示されます。

2 **[ネットワークサービス]をタッチする。**
ネットワークサービス画面が表示されます。

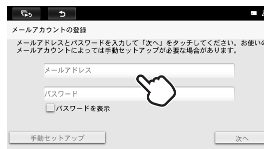



3 **[メールを受信]の右側の をタッチする。**

ネットワークサービス画面




4 **[メールアドレス]をタッチし、表示されたキーボードで利用したいメールアドレスを入力する。**
例）S-Frame@sony.co.jp
（**大文字、小文字にご注意ください。**）




5 **メールアドレスの入力が終わったら［次へ］をタッチする。**
パスワードの入力に移動します。





次のページにつづく

### 6 表示されたキーボードでパスワードを入力し、[完了］をタッチする。

入力したメールアドレスとパスワードを確認します。

［パスワードを表示］の左側をタッチし、「✔」マークを付けると、入力したパスワードを確認できます。（**大文字、小文字にご注意ください。**）

### 7 ［次へ］をタッチする。

受信サーバーの確認が始まります。

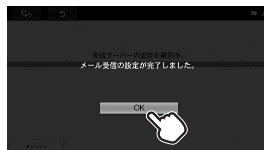
受信サーバーの確認が終わると、完了の画面が表示されます。

**受信サーバーの確認ができないときは**

- メッセージ画面が表示されます。［OK］をタッチするとメールアカウントの登録画面に戻ります。この場合は、次の「手動で設定する」をご覧になり設定してください。

### 8 ［OK］をタッチする。

設定が完了します。




## 手動でメールを設定する

① 手順7で［手動セットアップ］をタッチする。

② ［POP3］か［IMAP］のどちらかをタッチする。



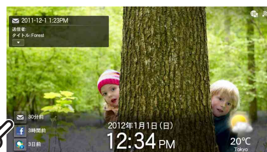

③ 表示された画面で、「ユーザー名」「パスワード」「POP3サーバー（もしくはIMAPサーバー）」「ポート」「セキュリティの種類」を入力する。
［パスワードを表示］の左側をタッチし、「✔」マークを付けると、入力したパスワードを確認できます。
表示された画面には、仮の設定が表示されますが、設定したいメールサービスのメール設定をご確認ください。




④ 設定が終わったら［次へ］をタッチする。
受信サーバーの確認が始まり、受信サーバーの確認が終わると、完了の画面が表示されます。

### メールで送られてきた画像を表示する

スライドショー画面で（メール）をタッチしてください。
100枚を超える、メールに添付された画像を受信した場合、最新の画像100枚が表示されます。


### メールで受信した写真情報の表示、非表示を設定をする

手順３のネットワークサービス画面で、［写真情報を表示］の左側をタッチする。
写真情報を表示したいとき：「✔」マークを付けてください。
写真情報を非表示にしたいとき：「✔」マークをはずしてください。
（再度タッチすると、「✔」マークがはずれます。）

### 設定したメールサービスを一時休止したいときは

メール設定を残したまま、メールサービスの受信を一時休止することができます。
ネットワークサービス画面で［メールを受信］をタッチし、「✔」マークをはずしてください。
メール受信を再開するときは、［メールを受信］をタッチし、「✔」マークを付けてください。

もっと楽しむ

## Facebookを設定する

**ちょっと一言**

- はじめに、Facebookで利用しているメールアドレスとパスワードを用意してください。

1 **本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

2 **［ネットワークサービス］をタッチする。**

ネットワークサービス画面が表示されます。






次のページにつづく

3 ［Facebookに接続］の右側の 🔧 を
タッチする。




4 Facebookのメールアドレスとパスワードを入力したら、［ログイン］をタッチする。

友達の一覧が表示されます。

**ちょっと一言**

- 初回のみ、アクセス許可を促すメッセージが表示されるのでアクセスを許可してください。

5 写真を受信したい友達を設定する。設定を変更したい友達をタッチする。

「✔」マークを付けた友達：自動的に写真が受信されます。

「✔」マークをはずした友達：写真は受信されません。

タッチするたびに、「✔」マークが付いたり、はずれたりします。

［全て選択］をタッチすると、全ての友達に「✔」マークが付きます。

［全て選択解除］をタッチすると、全ての友達の「✔」マークがはずれます。




6 友達を選択後、［OK］をタッチする。

7 完了画面で［OK］をタッチする。



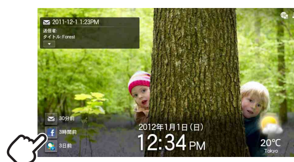

**ご注意**

- ダウンロードする画像数が多い場合（初回アクセス時など）、画像表示に時間がかかる場合があります。

## Facebookで送られてきた画像を表示する

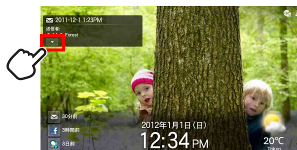
スライドショーで f（Facebook）をタッチしてください。

100枚を超える画像を受信した場合、Facebookで送られてきた最新の画像100枚が表示されます。



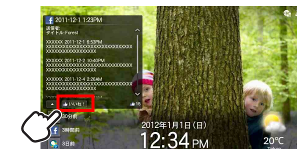
## 「いいね！」を表示する（スライドショー4を除く）

メッセージ表示の ▼ をタッチしてください。
メッセージ表示画面が開き、[いいね！]（すでに「いいね！」が付いている場合、[いいね！を取り消す]）と、その右側に「いいね！」の数が表示されます。

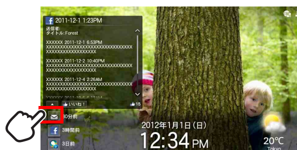


「いいね！」をつけたい場合は、[いいね！] をタッチしてください。

「いいね！」を取り消したい場合は、[いいね！を取り消す] をタッチしてください。



メッセージ表示画面を閉じるときは
開いたメッセージ画面の ▲ をタッチします。
画面が閉じます。



**ご注意**

- 「いいね！」がつけられない場合は、再度Facebookにログインしてください。
  ログイン方法は、Facebookを設定する（47ページ）をご覧ください。
- コメントの表示数は、最大100件です。
- 「いいね！」の数が100以上の場合、「100以上」と表示されます。

## 写真を受信したい友達の設定を変更する

1 **手順3のネットワークサービス画面で、[Facebookに接続] の右側の ボタンをタッチする。**
友達の一覧が表示されます。




2 **設定を変更したい友達をタッチする。**
「✔」マークを付けた友達：自動的に写真が受信されます。
「✔」マークをはずした友達：写真は受信されません。

3 **友達を設定後、[OK] ボタンをタッチする。**

4 **完了画面で [OK] をタッチする。**





次のページにつづく

**ご注意**

- 友達の選択は、設定後の受信から有効になります。
- 写真を受信したい友達の設定後に増えた友達は、自動で「✔」マークが付きます。

## 設定したFacebookの受信を一時休止したいときは

Facebookの設定を残したまま、Facebookの受信を一時休止することができます。

ネットワークサービス画面で［Facebookに接続］をタッチし、「✔」マークをはずしてください。

Facebook受信を再開するときは、［Facebookに接続］をタッチし、「✔」マークを付けてください。

# PlayMemories Onlineを設定する

**ちょっと一言**

- はじめに、PlayMemories Online（プレイメモリーズオンライン）で利用しているサインインIDとパスワードを用意してください。

**1 本体背面のメニューを押す。**

メニューが表示されます。

**2 [ネットワークサービス］をタッチする。**

ネットワークサービス画面が表示されます。




**3 ［PlayMemories Online］に接続の右側の をタッチする。**



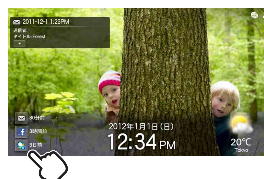

**4 PlayMemories Onlineの画面の指示に従い入力を続け、完了画面で［OK］をタッチする。**

設定が完了します。




## PlayMemories Onlineで送られてきた画像を表示する

スライドショー画面で
（PlayMemories Online）をタッチしてください。
100枚を超える画像を受信した場合、最新の画像100枚が表示されます。




もっと楽しむ



次のページにつづく

### 設定したPlayMemories Onlineの受信を一時休止したいときは

PlayMemories Onlineの設定を残したまま、PlayMemories Onlineの受信を一時休止することができます。
ネットワークサービス画面で［PlayMemories Onlineに接続］をタッチし、「✔」マークをはずしてください。
PlayMemories Online受信を再開するときは、［PlayMemories Online に接続］をタッチし、「✔」マークを付けてください。

**ご注意**

- ネットワークサービスによっては正しく動作できない場合があります。
- 事前に各ネットワークサービスのウェブサイトでアカウントを作成しておく必要があります。
- 各ネットワークサービスにある全ての画像が本機にダウンロードできるとは限りません。

# ホームネットワークを楽しむ

ホームネットワークに接続することで、DLNA対応のデジタル機器やパソコンに保存されている画像（静止画のみ）や音楽（DPF-WA700のみ）を、本機で楽しむことができます。ホームネットワークを利用する上で、DLNA認定製品であるかどうか、もしくは、必要なパソコン動作環境をご確認ください。

### DLNA認定製品について

DLNA認定製品には、DLNA認定ロゴが製品やメーカーのWebページなどに掲載されています。

### 必要なパソコン動作環境

パソコンには、次のアプリケーションが搭載されている必要があります。
“Windows Media Player バージョン11（Microsoft Windows Vista に標準搭載）”または”Windows Media Player バージョン12（Microsoft Windows 7に標準搭載）”

## ネットワーク機器を設定する

ホームネットワークのご利用には、DLNA対応のデジタル機器やパソコンの事前設定が必要です。

1 **無線LANの設定をする。**

お使いの無線LANルーターの設定が必要です。
設定方法は、同梱の「はじめにお読みください」または、「設定を変更する」（59ページ）をご覧ください。

2 **パソコンを設定する。**

ここでは、Microsoft Windows 7（Windows Media Player バージョン12）での設定例をご案内します。

お使いのDLNA対応のデジタル機器やパソコンにより設定方法が異なりますので、お持ちのDLNA対応のデジタル機器やパソコンの取扱説明書等を確認し、必要な設定を行ってください。
また、ソニーのWEBサイト内 S-Frame機種別サポートページにおいても「ホームネットワークを楽しむ」についての詳細なご案内をしております。
さらに、下記のWEBサイトでは動画での設定方法をご案内しております。
http:// www.sony.jp/support/movie/
あわせてご覧ください。

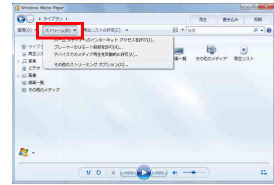




次のページにつづく

①Windows Media Player（Version 12）を起動する。

**②［ストリーム®］タブの右の矢印をクリックする。**

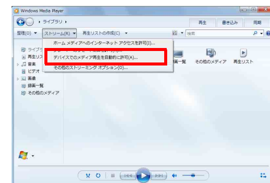


**ホームネットワーク上のアクセス許可の設定を行う**

すべてのデバイスへのアクセスを許可する場合と、デバイスごとにアクセスを許可する場合と、方法が2種類あります。お客様のご判断で、どちらかの設定を行ってください。ここでは、全てのデバイスへのアクセスを許可する場合をご案内します。

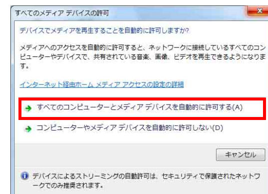
**③［デバイスでのメディア再生を自動的に許可（A）…］をクリックする。**

［すべてのメディアデバイスの許可］ダイアログボックスが表示されます。



**④［すべてのコンピューターとメディアデバイスを自動的に許可する(A)］をクリックする。**

設定が完了すると、［すべてのメディアデバイスの許可］ダイアログボックスが閉じられます。




**⑤再度、［ストリーム®］タブの右の矢印をクリックし、［デバイスでのメディア再生を自動的に許可(A)…］がオンになっていることを確認する。**

**ご注意**

- 上記は、設定例です。ご自分のホームネットワーク環境にあわせて設定を行ってください。
- 必要なパソコン動作環境を満たしていても、すべてのパソコンとの接続や動作を保証するものではありません。
- DLNA対応のデジタル機器やパソコンの設定を変更した場合は、DLNA対応のデジタル機器やパソコンの電源を一度切ってから、電源を入れなおしてください。

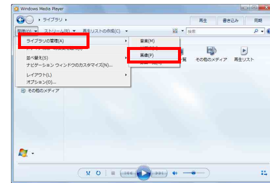
**Windows Media PlayerのライブラリにDPF-WA700/W700で再生したい画像（静止画）や、音楽を追加する設定を行う**

⑥［整理(o)］タブの右の矢印をクリックする。

⑦［ライブラリの管理(A)］をクリックし、［画像(P)］もしくは、［音楽(M)］をクリックする。

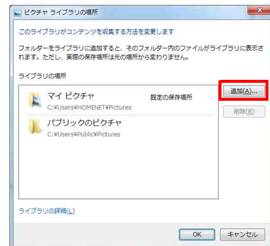
（ここでは、［画像(P)］を選択して、操作を続けます。［音楽(M)］を選択しても、操作は同じです。）

※音楽の再生はDPF-WA700のみ



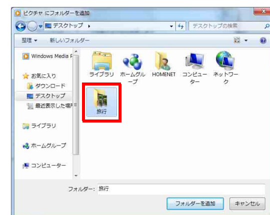
⑧［ピクチャライブラリの場所］ダイアログボックスが表示されるので、［追加(A)…］をクリックする。

［ピクチャにフォルダーを追加］ダイアログボックスが表示されます。



⑨表示したい画像のあるフォルダー（ここでは「旅行」）を選択し、［フォルダーを追加］をクリックする。

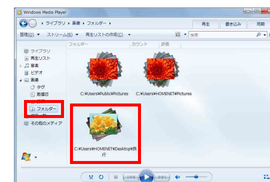
［ピクチャライブラリの場所］ダイアログボックスが再び表示されます。



⑩［ライブラリの場所］に表示したい画像のあるフォルダー（ここでは「旅行」）が追加されていることを確認し、［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じる。

⑪［ライブラリ］から、「フォルダー」を選択して、「旅行」フォルダーが追加されていることを確認する。

以上で、Windows Media Player Version12の設定は終了です。







次のページにつづく

# 画像を再生する

デジタル機器に保存されている画像（静止画のみ）を、本機で再生します。

**ご注意**

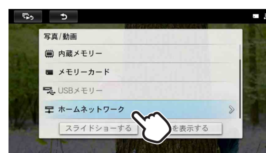
- パソコンに保存されている動画は、本機では再生できません。

1 **本体背面のメニューボタンを押す。**
メニューが表示されます。

2 **[写真/ 動画]（DPF-WA700）/ [写真]（DPF-W700）をタッチする。**



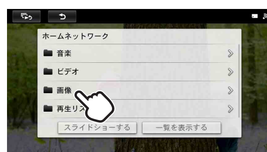

3 **[ホームネットワーク] をタッチする。**



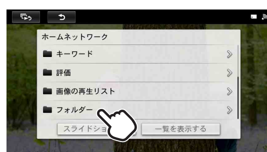

4 **表示されたネットワーク機器から、再生したいデジタル機器をタッチする。**




5 **[画像] をタッチする。**



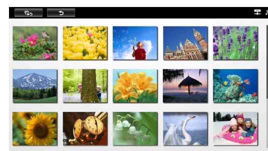

6 **指で画面を上下に動かし、[フォルダー] を探してタッチする。**



7 再生したい画像のあるフォルダーをタッチする。
本機で再生可能な「旅行」フォルダー内の画像（静止画）のリストが表示されます。

8 [スライドショーする]、または [一覧を表示する] をタッチする。
スライドショーまたは、一覧表示します。



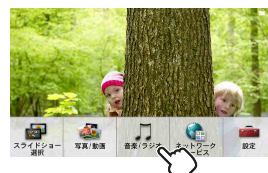



## 音楽を再生する（DPF-WA700 のみ）

デジタル機器に保存されている音楽を、本機で再生します。

1 本体背面のメニューボタンを押す。
メニューが表示されます。

2 ♫ [音楽/ラジオ] をタッチする。




3 指で画面を上下に動かし、[ホームネットワーク] をタッチする。

4 表示されたネットワーク機器から、再生したい機器をタッチする。

5 [音楽] をタッチする。








次のページにつづく

6 指で画面を上下に動かし、[フォルダー]をタッチする。




7 再生したい音楽があるフォルダー（ここでは、「旅行」）をタッチする。

本機で再生可能な、音楽のリストが表示されます。




8 再生したい音楽をタッチする。

音楽の再生が始まります。

# 設定を変更する

1 **本体背面のメニューを押す。**
メニューが表示されます。

2 **[設定] をタッチする。**




3 **設定したい項目を選びタッチする。**
画面上で指を上下になぞると、画面が動きます。
選択した項目の設定画面が表示されます。




4 **変更したい項目を選びタッチする。**
それぞれの項目が設定できるようになります。（60ページ）

5 **表示された画面の指示に従って、設定を続けます。**

6 **本体背面のメニューを押す。**
元の画面に戻ります。

**ご注意**

- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、手順4で選択できません。

### 設定を工場出荷状態に戻すには

1 **[設定] をタッチする。**

2 **[工場出荷状態に戻す] をタッチする。**

3 **[設定の初期化] をタッチする。**
日付と時刻以外の設定値を工場出荷時の設定に戻します。





次のページにつづく

# 設定項目

＊は工場出荷時の設定です。
（工場出荷時の設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。）

## Wi-Fi設定

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| Wi-Fi | ON／OFFを切り換えます。 |
| 設定する | Wi-Fi設定ウィザードが始まり、画面の指示に従って設定することができます。<br>アクセスポイントがWPSに対応している場合は：<br>［WPS（プッシュボタン方式）］または、［WPS（PIN方式）］を選びます。<br>アクセスポイントがWPSに対応していない場合は：<br>［検索する］を選びます。<br>➔設定のしかたは（「準備❹ 初期設定をする」（17ページ）をご覧ください。 |
| SSID／セキュリティ／電波強度／MACアドレス／IPアドレス／デフォルトゲートウェイ／サブネットマスク／DNSサーバー（プライマリ）／DNSサーバー（セカンダリ） | 現在の設定を表示します。 |

## 本体設定

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| スライドショー切り換え間隔 | 画像を切り換える間隔を［3秒］／［7秒＊］／［20秒］／<br>［1分］／［5分］／［30分］／［1時間］／［3時間］／<br>［12時間］／［24時間］の間で設定します。 |
| 画像表示順 | 画像を表示する順番を［昇順＊］または［降順］で設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。 |
| 画面の明るさ | 液晶画面の明るさを設定します。 |
| タッチパネルの調整（キャリブレーション） | タッチパネルの反応する位置にズレが生じたときに調整することができます。<br>画面の指示に従い操作してください。 |

## 時計設定

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| インターネットから日時を自動取得 | チェックボックスに「✔」を付けると有効*になります。 |
| 日付 | 日付を設定します。 |
| 時刻 | 時刻を設定します。 |
| タイムゾーン | タイムゾーンを選択できます。 |
| 24時間表示 | 時刻表示を切り替えます。<br>24時間表示：チェックボックスに、「✔」あり<br>AM/PM表示*：チェックボックスに、「✔」なし |
| 日付表示順 | 日付の書式を選ぶことができます。<br>表示順を［年-月-日］*／［月-日-年］／［日-月-年］から選択してください。 |

**ちょっと一言**

- インターネットから日時を自動取得しているときは、日付と時刻は手動で設定できません。

## 天気設定

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| 都市を選択 | タッチすると天気設定ウィザードへ進みます。<br>画面の指示に従って設定してください。 |
| 摂氏／華氏 | 気温の表示を［摂氏］*または［華氏］から選択できます。 |

## 自動電源ON/OFF設定

自動的に本機の電源を入／切するタイマーを設定します。（42ページ）

## 言語設定

液晶画面に表示される言語を設定します。

日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語／ポルトガル語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／ギリシャ語／トルコ語／スウェーデン語／デンマーク語／フィンランド語

## 工場出荷状態に戻す

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| 内蔵メモリーの初期化 | 内蔵メモリーを初期化します。（39ページ） |
| 設定の初期化 | すべての設定値を工場出荷時の設定に戻します。ただし、日付と時刻の設定は保持されます。 |

## 本体情報表示

| 設定 | 内容 |
|---|---|
| バージョン | 本機のファームウェアのバージョンが表示されます。 |
| 内蔵メモリー総容量 | 初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。 |
| 内蔵メモリー残容量 | 現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。 |
| オープンソースライセンス | オープンソースライセンス情報が表示されます。 |
| ファームウェアの更新 | ファームウェアの更新ができます。画面の指示に従って更新してください。 |

# コンピューターから画像や音楽をコピーする

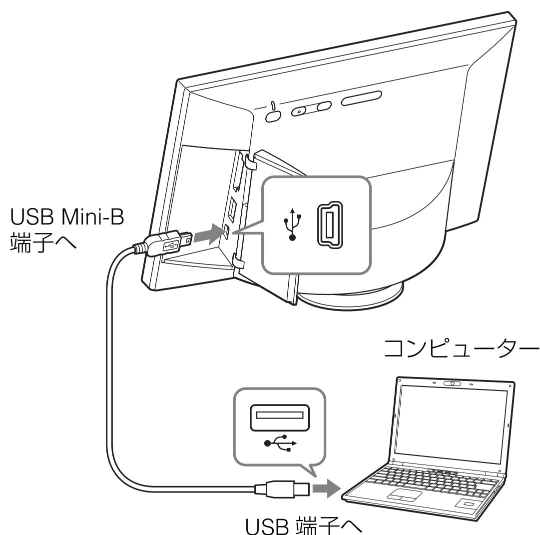
## コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーしたりすることができます。

1 **ACアダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込み電源を入れる。**

2 **コンピューターと本機を市販のUSBケーブルで接続する。**

■ DPF-WA700

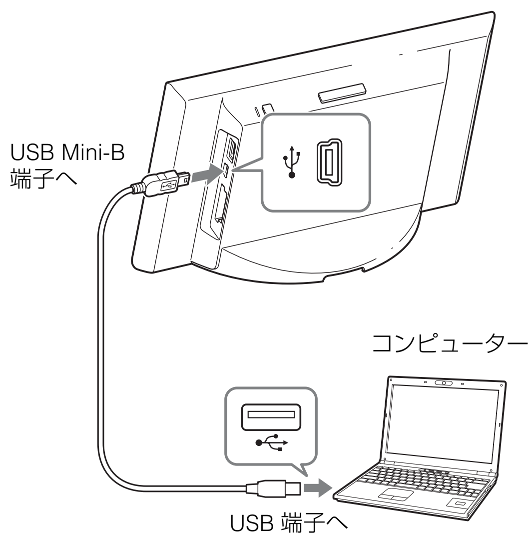



もっと楽しむ



次のページにつづく

■ DPF-W700




## 必要なシステム構成

### Windows

**推奨OS**：Microsoft Windows 7 SP1/Windows Vista SP2/Windows XP SP3

**ポート**：USBポート

### Macintosh

**推奨OS**：Mac OS X（v10.4以降）
**ポート**：USBポート

## コンピューターとの接続を切断するには

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してからUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりしてください。

### Windows 7 SP1のときの切断のしかた

①タスクトレイの （ハードウェアの安全な取り外し）をクリックする。

② DPF-WA700の取り外し（または、DPF-W700の取り外し）をクリックする。

③USBケーブルを抜く。

### Mac OS Xのときの切断のしかた

①Finderでファイルを選択する。

②"S-FRAME"を取り出すを選択する。

③USBケーブルを抜く。

**ご注意**

- USBケーブルは、Mini-B TYPEをお使いください。市販のUSBケーブルをお使いになる場合は、長さ3m未満のMini-B TYPE（フレーム側コネクタタイプ）をお使いください。
- 1台のコンピューターに複数のUSB接続をしたり、またはハブを使用したりした場合は、不具合を発生することがあります。
- 同時に接続された他のUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB接続については、コンピューターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- USB A端子にUSBメモリーを接続しているときに、同時にUSB Mini-B端子とコンピューターを接続しないでください。

## Microsoft Windowsからコピーする

**ちょっと一言**

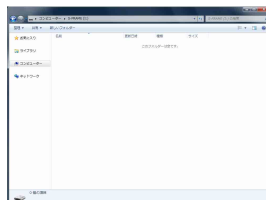
- Microsoft Windows 7 SP1での例です。お使いのOSにより、画面表示、操作方法は異なることがあります。

1 **コンピューターに接続する。**

「コンピューターに接続する」（63ページ）をご覧ください。

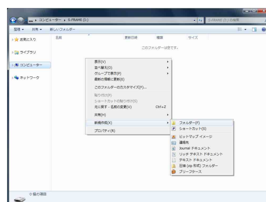
2 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダーを開いてファイルを表示］をクリックする。**

［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピューター」から「S-FRAME」（リムーバブルディスク）を選び、開いてください。

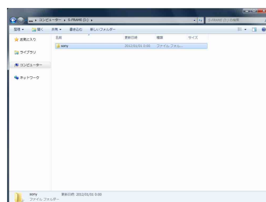


3 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］→［フォルダー］をクリックする。**

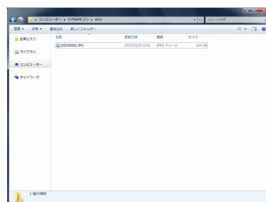
作成したフォルダーに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



4 **作成した「sony」フォルダーを開く。**



5 **コピーしたい画像や音楽ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**



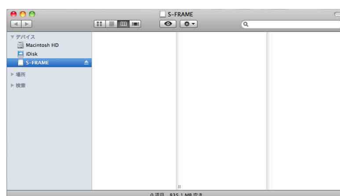
## Macintoshからコピーする

**ちょっと一言**

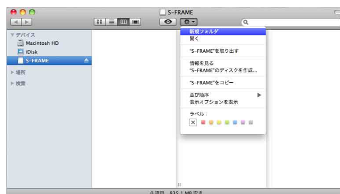
- Mac OS Xでの例です。お使いのOSにより、画面表示、操作方法は異なることがあります。

1 **コンピューターに接続する。**
「コンピューターに接続する」（63ページ）をご覧ください。
コンピューターとの接続が完了すると、コンピューター画面上に、「S-FRAME」アイコンが表示されます。

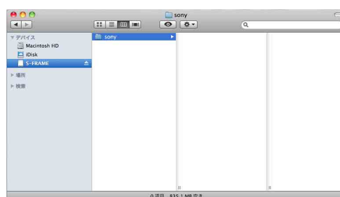
2 **コンピューターの画面上の「S-FRAME」アイコンをダブルクリックする。**




3 **カーソルをウインドウの中に移動し、[新規フォルダ] を選択する。**
作成したフォルダーに名前をつけます。ここでは、仮に「sony」としています。




4 **作成した「sony」フォルダーを開く。**




5 **コピーしたい画像や音楽ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**



**ご注意**

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で本機の内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

# エラー表示

本機の液晶画面に次のようなエラーが表示されたら、以下に従って対処してください。

| 表示 | 表示の意味 |
|---|---|
| | コンピューターで作成したJPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルです。 |
| | 本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。 |
| | 内蔵メモリー、"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーに画像データが入っていません。 |
| | 内蔵メモリー、"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが破損しています。<br>→ 正常な"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。<br>内蔵メモリーの場合は、本機で、内蔵メモリーの初期化を行ってください。 |
| | サポートしていないフォーマットの内蔵メモリー、"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが使用されています。<br>→ サポートしている"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。<br>内蔵メモリーの場合は、本機で、内蔵メモリーの初期化を行ってください。 |

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

## ■ 電源

### 電源が入らない。

- 電源プラグは正しく差し込んでありますか？
  - ➔正しく接続してください。

### 何も反応しない。

➔電源を一度切り、再度入れなおしてください。（16ページ）

## ■ 画像を表示する

### 画面に画像が表示されない。

- メモリーカードは正しく挿入されていますか？
  - ➔正しく挿入してください。（22ページ）
- メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？
  - ➔画像の入っているメモリーカードを入れてください。
  - ➔表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（77ページ）
- ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？
  - ➔DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

### 一部の画像が表示されない。

- インデックス表示で画像が表示されていますか？
  - ➔インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、一枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。
  - ➔DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
- コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？
  - ➔コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
- メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか？
  - ➔8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。

## 動画を再生する（DPF-WA700のみ）

### 画面に動画が再生されない。

- インデックス表示、一枚表示で [?] マークが表示されていますか？
  → 本機が対応していない動画ファイルです。本機で再生可能な動画ファイルかどうか確認してください。（77ページ）

### 早送り/早戻しができない。

→ 動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものや、画像が乱れたり、音声が正しく再生できないものがあります。

## 画像を保存、削除する

### 保存できない。

- メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？
  → 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
- メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？
  → 誤消去防止スイッチを解除してください。
- メモリーカードが一杯になっていませんか？
  → 不要な画像を削除してください。（37ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
- 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？
  → 不要な画像を削除してください。（37ページ）
- フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？
  → フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で本機の内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
- ［メモリーカードにエラーがあります。］または、［メモリーカードへの書き込みエラーです。］というメッセージが表示された。
  → メモリーカード内で何らかのエラーが発生していることを示します。メモリーカードが正しく挿入されているか確認してください。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードの状態をご確認ください。
- ［内蔵メモリーにエラーがあります。］または、［内蔵メモリーへの書き込みエラーです。］というメッセージが表示された。
  → 内蔵メモリー内で何らかのエラーが発生していることを示します。内蔵メモリーは初期化を行ってください。初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。





次のページにつづく

### 削除できない。

- メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？
  → お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度削除してください。
- メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか?
  → 誤消去防止スイッチを解除してください。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された。
  → 読み取り専用画像です。本機からは削除できません。

### 誤って消してしまった。

→ 1度削除したファイルは元に戻せません。

## ■ 音楽を取り込む（DPF-WA700のみ）

### 音楽ファイルが取り込めない。

→ 音楽ファイルは、メモリーカードから直接内蔵メモリーに取り込みができません。
音楽ファイルを内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの音楽ファイルを本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターから画像や音楽をコピーする」（63ページ）をご覧ください。

## ■ 音楽を再生する（DPF-WA700のみ）

### 音楽が再生できない。

- 本機で再生可能な音楽ファイルですか？
  → 本機で再生可能な音楽ファイルかどうか確認してください。（78ページ）
- 音量が最小になっていませんか？
  → 音量を調節してください。（33ページ）

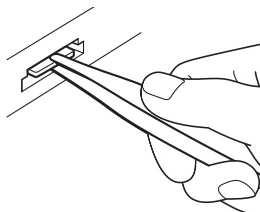
## ■本体

### 何も反応しない。

→電源を一度切り、再度入れなおしてください。（16ページ）

### メモリーカードが取り出せなくなってしまった。

→miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカード、"メモリースティックマイクロ"を誤って挿入した場合、ピンセットなどの先の細い道具をお使いいただくことで取り出せる場合があります。
取り出す際には、道具で、本体やカードに傷がつかないように充分ご注意ください。
無理に引き抜くと故障の原因になりますので、取り出せない場合は、ソニーの相談窓口へご相談ください。



## ■ワイヤレスネットワーク

### 無線LANアクセスポイントとの接続ができない。

→無線LANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
本機と無線LANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。

→本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。

→アクセスポイントに接続するために、暗号キー（WEP/WPA）やその他の特別な設定（固定IPアドレスなど）が必要か確認してください。
アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしています。その場合、ネットワークの一覧に表示されないことがあります。

→アクセスポイント側のSSIDを管理者に確認して手動設定をしてください。またはアクセスポイント側で設定を解除してください。
公衆無線LANのアクセスポイントでは、Webを使うなどの方法でログインIDやパスワードなどを入力しないとネットワークを使用できない場合があります。接続しているワイヤレスネットワークのサービスを確認してください。

→電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器との距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。





次のページにつづく

### 画像の転送に時間がかかる。

- ➔ 機器間または、本機と無線LANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、画像の転送に時間がかかることがあります。機器の場所を移動するか、機器間または、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- ➔ 他の無線LANアクセスポイントと混信している可能性があります。無線LANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をしてください。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取り扱い説明書をご覧ください。
- ➔ 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器と本機の距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

# 使用上のご注意

## 設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ

### ACアダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外のACアダプターを使用しないでください。

### 結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。
この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

### 引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、ACアダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

## お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

## メモリーカードについてのご注意

### “メモリースティックデュオ”

- 使用可能な“メモリースティックデュオ”についての最新情報は、ホームページ上の「“メモリースティック”対応表」をご確認ください。
- 本機はFAT32に対応しています。ただし、すべての“メモリースティックデュオ”メディアの動作を保証するものではありません。
- 著作権保護技術（“マジックゲート”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“マジックゲート”とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。
- 本機は、8ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。
- “メモリースティックデュオ”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターで初期化した場合、画像が表示されないことがあります。
- 初期化を実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

### SDメモリーカード

- 市販のカードアダプターによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。
- 正しい挿入方向をお確かめのうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリーカードを挿入するとき、無理な力を加えると、メモリーカードまたは本機を破損するおそれがあります。
- データの読み込み中、アクセス中に、メモリーカードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-WA700/W700
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

# 主な仕様

## 本体

| 型名 | | DPF-WA700 | DPF-W700 |
|---|---|---|---|
| 液晶表示画面 | 液晶パネル | 7型、TFT駆動（タッチパネル、抵抗膜方式） | |
| | 総ドット数 | 1,152,000ドット（800×3（RGB）×480）ドット | |
| 有効表示画面 | 表示アスペクト比 | 16:9 | |
| | 実表示エリア | 7型 | |
| | 総ドット数 | 1,152,000ドット（800×3（RGB）×480）ドット | |
| 液晶バックライト寿命 | | 20,000時間（バックライトの輝度が半減するまでの時間） | |
| 入出力端子 | | USB端子（Mini-B TYPE、Hi-Speed USB）<br>USB端子（A TYPE、Hi-Speed USB）<br>“メモリースティックPRO”（デュオ）／SDメモリーカードスロット | |
| スピーカー | | モノラル | |
| 再生可能なファイルフォーマット*1 | 静止画（写真） | Baseline/Progressive JPEG with 4:4:4, 4:2:2 or 4:2:0 format | Baseline JPEG with 4:4:4, 4:2:2 or 4:2:0 format |
| | | 最大再生画素数*2：16,384×12,288（Baseline JPEGの場合） | |
| | 動画*3*4*5 | MPEG-4 AVC/H.264<br>拡張子：mp4、mts<br>プロファイル：Baseline Profile、Main Profile、High Profile<br>レベル：4.2以下<br>解像度：最大1920×1080<br>音声形式：Dolby Digital、AAC<br><br>MPEG-4 Visual<br>拡張子：mp4<br>プロファイル：Simple Profile、Advanced Simple Profile、Advanced Coding Efficiency Profile<br>レベル：6以下（Simple Profile）、5以下（Advanced Simple Profile）、4以下（Advanced Coding Efficiency Profile）<br>解像度：最大1280×720<br>音声形式：AAC-LC | |





次のページにつづく

| 型名 | | DPF-WA700 | DPF-W700 |
|---|---|---|---|
| 再生可能なファイルフォーマット*1 | 動画*3*4*5 | MPEG-1 Video<br>拡張子：mpg<br>解像度：最大720×576<br>音声形式：MPEG-1 Audio Layer 2<br>Motion JPEG<br>拡張子：mov、avi<br>解像度：最大1280×768<br>音声形式：リニアPCM、μ-law、IMA-ADPCM | |
| | | ビットレート：最大28 Mbps<br>フレーム数：最大60 p | |
| | 音楽*3 | MP3<br>拡張子：mp3<br>ビットレート：32 kbps～320 kbps、可変ビットレート（VBR）対応<br>サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz<br>AAC<br>拡張子：m4a<br>ビットレート：32 kbps～320kbps、可変ビットレート（VBR）対応<br>サンプリング周波数：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz<br>リニアPCM<br>拡張子：wav<br>サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz<br>WMA<br>拡張子：wma<br>ビットレート：8 kbps～320 kbps、固定ビットレート（CBR）／可変ビットレート（VBR）対応<br>サンプリング周波数：8 kHz、11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz | |
| ファイルシステム | | FAT12/16/32 | |

| 型名 | DPF-WA700 | DPF-W700 |
|---|---|---|
| 画像ファイル名 | 半角英数字255文字 8階層以下<br>* ファイル名に半角英数字以外の文字が使用されている場合、ファイルが認識されない場合があります。 | |
| 最大画像ファイル数 | 内蔵メモリー、メモリーカード1枚につき9,999枚 | |
| 内蔵メモリー容量*6 | 1GB（保存ファイル数*7：約4000枚） | |
| 無線LAN<br>対応規格 | 通信方式：IEEE 802.11b/g/n<br>使用周波数帯：2.4GHz帯<br>暗号化：WEP/WPA-Personal/WPA2-Personal<br>接続方式：WPS (Wi-Fi Protected Setup) / 手動 | |
| 電源 | DC IN端子入力、DC 12V | DC IN端子入力、DC 5V |
| 消費電力<br>ACアダプター含む | 最大消費電力：13.3 W、標準消費電力：5.6 W（通常モード） | 最大消費電力：14 W、標準消費電力：5.9 W（通常モード） |
| 本体のみ | 最大消費電力：10.7 W | 最大消費電力：10.6 W |
| | * 通常モードの定義は"出荷時設定にて内蔵メモリー内に保存したデータをスライドショーしている状態でメモリーカードを取り付けていない状態"です。 | |
| 動作温度 | 5℃～35℃ | |
| 外形寸法<br>（幅／高さ／奥行き）<br>スタンドセット時 | 約200 mm×140.5 mm×80.2 mm | 約201 mm×130 mm×61.6 mm |
| 壁掛け時 | | 約201 mm×130 mm×26.6 mm |
| 質量（ACアダプター含まず、スタンド含む） | 約525 g | 約425 g |
| 同梱品 | 「準備❶ 同梱品を確認する」（11ページ）参照 | |

## ACアダプター

| | DPF-WA700用 | DPF-W700用 | |
|---|---|---|---|
| 定格入力 | AC100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz、0.4 A | | |
| 定格出力 | DC 12 V、1.5 A | DC 5 V、2.2 A | DC 5 V、3 A |
| 外形寸法<br>（奥行／幅／高さ）<br>（最大突起部のぞく） | 約64 mm×50 mm ×30 mm | 約79 mm×34 mm ×65 mm | 約64 mm×50 mm ×30 mm |
| 質量 | 約110 g | 約105 g | 約170 g |

DPF-W700用は、いずれか1つ同梱されています。

その他の仕様については、ACアダプターのラベルをご覧ください。
仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。（DPF-WA700のみ）





次のページにつづく

*1　データの種類によっては再生できないものや正しく再生されない場合があります。
*2　17×17以上ある必要があります。縦横の比が20：1以上ある画像は正しく表示できない場合があります。また、20：1以下でもインデックス表示や、スライドショーで表示されない場合があります。なお、画像形式によっては、最大再生画素数まで表示できない場合があります。
*3　著作権保護されたファイルは再生できません。
*4　データの種類、メモリーカードの転送速度によってはコマ落ちする場合があります。
*5　一部動画ではコマを間引いて再生しています。
*6　容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。ご使用頂けるユーザー容量は、約800MBです。
*7　保存枚数は、リサイズして画像取込を行った際の目安です。リサイズして画像取り込みを行った場合、78万画素相当に自動的にリサイズされます。被写体および撮影条件によって異なります。

## 商標およびライセンスについて

- S-Frame、Cyber-shot、α、PlayMemories Online、“Memory Stick”、MEMORY STICK、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック Duo”、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲートメモリースティック”、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティック PRO Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG Duo”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”、MEMORY STICK MICRO、M2、“Memory Stick-ROM”、“メモリースティック-ROM”、MEMORY STICK-ROM、“MagicGate”、“マジックゲート”、MAGICGATEは、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国におけるApple Inc.の登録商標です。
- SDロゴ、SDHCロゴは、SD-3C、LLCの商標です。
- Monotype Imaging Inc.のフォントを搭載しています。iType™は、Monotype Image inc.の商標です。
- AccuWeather.comは、AccuWeather, Incの商標です。
- Facebookは、Facebook, Inc.の商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED”ロゴは、“Wi-Fi Alliance”の認証マークです。
- “Clear Phase”および CLEAR PHASE ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- DLNA®、DLNA Logo、DLNA CERTIFIED®は、Digital Living Network Allianceの登録商標、サービスマーク、または認証マークです。
  © 2012 Digital Living Network Alliance. All right reserved.
  © 2012 DLNA. All right reserved.
- この製品はMicrosoft Corporationの知的所有権によって保護されます。この製品の使用、あるいは外部への頒布は、Microsoftまたは正規のMicrosoft子会社からの認可がない場合禁止されています。
- Windows Media™は、米国Microsoft Corporationの米国、およびその他の国における商標です

## ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアが搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。
ライセンスの内容に関しては、本体に搭載されておりますので、以下に示す方法に従って、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。本体から、[MENU]-[設定]-[本体情報表示]-[オープンソースライセンス]をご覧ください。

## GNU GPL/LGPL 適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU GeneralPublic License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser GeneralPublic License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれています。お客様には、添付のGPL/LGPL の条件に従い、これらソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードは、Web で提供しております。
ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名「DPF-WA700/W700」をお選びください。
URL：http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

## DPF-WA700

- Dolby、ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機はFraunhofer IIS およびThomsonのMPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- radiko.jp IP Simulcast Radio

**ライセンスに関する注意**

- 本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual 規格に合致したビデオ信号（以下、MPEG 4 VIDEO といいます）にエンコードすること。
  (ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページ（HTTP://WWW.MPEGLA.COM）をご参照ください。
- 本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています：
  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEO といいます）にエンコードすること。
  (ii) AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。
  なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページ をご参照ください。

## DPF-W700

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Living Connectを搭載しています。
- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- 
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- ACCESS™
- NetFront®

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では、™、©マークは明記していません。







下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 ページもあわせてお読みください。

**分解や改造をしない**




火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

**内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない**




水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

**DC コードを傷つけない**




DC コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- DC コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- DC コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、DC コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

**機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく**




内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。“メモリースティック デュオ”などのメモリーカードや、デュオサイズの“M2”アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

**付属の AC アダプター以外は使用しない**




火災や感電の原因となることがあります。





次のページにつづく




下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

### ぬれた手で電源プラグをさわらない


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない


禁止

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

### 不安定な場所に設置しない


禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

### コード類は正しく配置する


指示

DC コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

### 通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない


接触禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く


プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

### 本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない


禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

### 本体内部の部品をさわらない


接触禁止

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

### スタンドを持って本体を持ち上げない


禁止

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。
持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりお持ちください。



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

**本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない**

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。




**液晶画面に衝撃を与えない**

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。




**お手入れの際は、電源プラグを抜く**

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。




**コネクターはきちんと接続する**

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。




**DC コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない**

断線や故障の原因となることがあります。




**雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない**

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。




**デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ**

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。
本機が落ちると、けがの原因となることがあります。






次のページにつづく

# ワイヤレス機能ご使用上のご注意




**心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する**




電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

**病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない**




電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する**




電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

**航空機内ではワイヤレス機能を使用しない**




電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

# 索引

## 五十音順

### ア行



### カ行



### サ行







次のページにつづく

## タ行



## ナ行



## ハ行



## マ行

## アルファベット順



## 記号



索引

# memo

# memo

## ■ 困ったときは（サポートのご案内）

### ホームページで調べる




デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.jp/s-frame/

### メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.jp/memorystick/compatible/

### 電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）




よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

| **使い方相談窓口** | |
|---|---|
| フリーダイヤル | 0120-333-020 |
| 携帯電話・PHS・一部のIP電話 | 0466-31-2511 |
| **修理相談窓口** | |
| フリーダイヤル | 0120-222-330 |
| 携帯電話・PHS・一部のIP電話 | 0466-31-2531 |
| ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。 | |

**FAX**（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

## ■ 製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「製品登録のおすすめ」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

オーバーシーズモデル、ワールドモデルにつきましては、製品登録の対象ではありません。

ソニー株式会社　〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1



この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China